

令和6年 能登半島地震 復興支援プロジェクト

カラオケで応援しよう～今こそ日本の歌力(うたちから)～
6月1日から7月31日を期間に実施

令和6年 能登半島地震 復興支援プロジェクト

カラオケで
応援しよう
今こそ日本の
歌力(うたちから)

期間 2024年6月1日～7月31日

カラオケ
1曲あたり 1円の支援金

カラオケで
能登半島を
復興支援!

復興応援課題曲を歌うと
1曲あたり1円が被災地に寄付されます

2024年6月1日(土)から7月31日(水)を期間に令和6年 能登半島地震 復興支援プロジェクト「カラオケで応援しよう～今こそ日本の歌力(うたちから)～」を実施します。

このプロジェクトは「令和6年 能登半島地震」で被災された地域の復興支援を歌を通じて実施しようとするものです。選曲タブレット端末で本プロジェクトのバナーから下記10曲の「復興応援課題曲」を選曲して歌うと、1曲につき1円が支援基金として積み上がり、能登半島地震被災地へ寄贈されます。

協会ホームページ(<https://www.karaoke.or.jp/notofukkou2024/>)から店舗掲示用ポスターをダウンロードいただけます。復興支援の輪を拡げるべく、各方面へ周知いただければ幸いです。

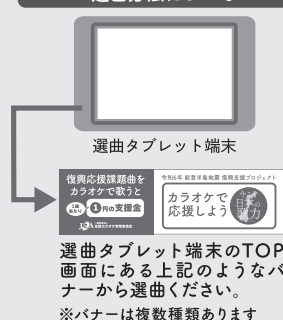


復興応援課題曲(曲名50音順)

今回の「復興応援課題曲」は過去災害時に当会が行った「応援歌アンケート」とジャンル別ランキング等をもとに選定しました。

No.	曲名	アーティスト名
1	明日はきっといい日になる	高橋優
2	上を向いて歩こう	坂本九
3	君に捧げる応援歌	HIPPY
4	ケセラセラ	Mrs. GREEN APPLE
5	365日の紙飛行機	AKB48
6	三百六十五歩のマーチ	水前寺清子
7	TOMORROW	岡本真夜
8	何度でも	DREAMS COME TRUE
9	ビリミリオン	優里
10	負けないで	ZARD

選曲方法について



お店のみなさまへ

令和6年 能登半島地震 復興支援プロジェクト
「カラオケで応援しよう～今こそ日本の歌力～」



本プロジェクトの趣旨に賛同賜り店舗掲示用ポスターを掲示いただけるお店は、下記URLからダウンロードの上、出力して使用ください。

https://www.karaoke.or.jp/notofukkou2024/notofukkou2024_a3.pdf

◀店舗掲示用ポスター

※上記10曲を選曲タブレット端末画面内の本プロジェクトバナーをタップし、復興応援課題曲の一覧画面から選曲願います。

2024年度 定時代議員総会開催

5月14日(火)、京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿)を会場に「2024年度 定時代議員総会」が開催されました。全国から142名(委任状含む)の代議員出席のもと、開催された総会は、すべての議案が承認・可決。総会後には業界人が集う懇親会が催され、参加者による活発な意見交換が行われました。



▲総会の模様

2024年度定時代議員総会は、中山政幸副会長による開会の挨拶でスタート。佐久間秀樹会長より「2023年度の事業活動はコロナ禍で大きなダメージを受けたカラオケ喫茶などの昼カラ事業においてイベントをバックアップする『カラオケ文化の日まつり』を提供して募集枠の倍ちかい応募を得、盛況裡に終えることができた。」と報告。また6月から8月にかけて「健康にまつわるカラオケ川柳」を募集したところ、多くの応募があり、カラオケが健康維持に不可欠な存在であること、そして感染症に負けない免疫力を育むレジャーであることの認識を深める「健康カラオケ」をアピールし得た。酒場市場へ向けた施

カラオケ事業者協会



▲挨拶に立つ 佐久間会長

策としてはスナック紹介サイト「スナックdeカラオケnavi」を9月に大幅リニューアルして、11月・12月に「歌ってラッキーキャンペーン」を実施、アニメ「スナック バス江」とコラボしたWebプロモーション「スナックは最高だ!」を同時開催して若者や女性など新たな顧客層へ向けてスナックの魅力を発信した。スナック紹介サイト「スナックdeカラオケnavi」を9月に大幅リニューアルしてアプリ提供も開始、スナックへ顧客誘導するポータルサイト「スナカラ」として名称変更した。

議案は、全案件を可決。最後に毛利泰介副会長の「協会も今年が30年の節目の年。皆様方と共にこの業界の更なる発展を目指して盛り上げて参りたい。今後も総力を挙げて市場活性化に取り組んで参りましょう」とする意気込みの言葉で閉会しました。

の事業もコロナ明けの市場活性化に寄与し得たものと思う」と挨拶。

総会では、次の4議案について審議されました。

- 第1号議案 2023年度事業報告について
- 第2号議案 2023年度収支決算報告並びに監査報告について
- 第3号議案 2024年度事業計画案について
- 第4号議案 2024年度収支予算案について

定時代議員総会懇親会ご来賓の皆様 (順不同)

- 経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐 腰田 将也 様
- 文化庁 著作権課 著作物流通推進室 室長補佐 内村 太一 様
- 一般社団法人 日本音楽著作権協会 常務理事 増田 裕一 様
- 一般社団法人 日本音楽健康協会 代表理事 戸塚 圭介 様
- 一般社団法人 日本カラオケボックス協会連合会 代表理事 仲間 信男 様
- 一般社団法人 カラオケ使用者連盟 代表理事 梶 喜代三郎 様
- 株式会社 第一興商 代表取締役社長 保志 忠郊 様
- 株式会社 エクシング 代表取締役社長 水谷 靖 様
- 株式会社 ワキタ 取締役 商事事業部長 石川 恵次 様

2023年度事業報告

概要 5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ変更となった。これにより基本的対処方針に基づく、イベントの開催制限、施設の使用制限、飲食店における第三者認証制度など、制約を伴う取り組みが廃止になった。2023年度は、3年にわたるコロナ禍明けの年であり、人々が日常生活を取り戻し、制約のない経済活動が営まれた。水際対策撤廃と円安の進行により海外観光客が急増し、インバウンド消費は5兆円を超えて過去最高を記録。日経平均株価はバブル後の最高値を更新して年度末の3月には4万円の台を突破した。カラオケ市場もボックスなどデイ市場が先行して客足が戻り、コロナ前の水準に迫った。

主な協会事業としては、「スナックdeカラオケnavi」から「スナカラ」へ9月に名称変更したスナック紹介サイトの大幅リニューアルと新規顧客誘致ツールとしての活用。忘年会シーズンを盛り上げようと11月・12月を期間に実施した「歌ってラッキーキャンペーン」やWebプロモーション「スナックは最高だ!」による市場喚起策の実施、コロナで大きな痛手を受けたカラオケ喫茶など昼カラ市場へのイベント開催を支援した「カラオケ文化の日まつり」開催などが挙げられる。

また、顧客保護の視点に立った業界の秩序維持活動を推し進めるため、契約書式の標準化や相談窓口の定着を進め、併せてJASRACとの間に交わした協定に基づく無許諾利用の解消と発生防止を推進するなど、業界適正化に努めた。継続事業としては、全国アンケートの実施並びにこれに基づく「カラオケ白書 2023」発行、「カラオケエンジニア検定」や「スキルアップ講習」の開講、「業界推進策2023」の定着と諸問題解消を目的とした「地区懇談会」開催、などが挙げられる。

組織委員会 各支部で9月から11月に前期地区懇談会を、2月から3月に後期地区懇談会を開催し、「業界推進策2023」及び活性化事業の落とし込みを行うと共に、業界規範の周知と市場の問題点収集を行った。また、地区内での見解共有を図り、高騰する物価への業界対応について検討した。

協会ホームページにより会員間の情報交換と協会の活動情報開示を進め、情報の共有化を図った。感染症全般への予防策として業界ガイドラインに基づく対策を周知し、実践店へ「ガイドライン」対策店「ステッカー」掲示を勧めた。また、「カラオケ産業の維持・発展、並びに生涯学習としてのカラオケ施設利用促進を目的とするユーザー団体「カラオケ使用者連盟」の会員勧誘に協力した。

新制度に移行後3年目を迎えた技能認定講座「カラオケエンジニア検定」は、3期生として2級(旧・初級)講座へ175名(有資格者481名)が、1級(旧・中級)講座へ151名(有資格者225名)が、そしてエキスパート(旧・上級)講座に90名がそれぞれ受講。最上位のエキスパート認定者は452名になった。

事業委員会

店舗の既存顧客を対象にした集客イベント「歌ってラッキーキャンペーン」をこれまでの秋開催から忘年会シーズンを盛り上げようと年末開催に変更、11月1日から12月31日を期間に実施した。また、アニメ「スナック バス江」とコラボしたWebプロモーション「スナックは最高だ!」を同時開催して若者や女性など新たな顧客層へ向けてスナックの魅力を発信した。スナック紹介サイト「スナックdeカラオケnavi」を9月に大幅リニューアルしてアプリ提供も開始、スナックへ顧客誘導するポータルサイト「スナカラ」として名称変更した。

「カラオケ文化の日」(10月17日)事業として、広く一般へ「健康にまつわるカラオケ川柳」を募集、最優秀作品を「健康カラオケ」推進のサインとして告知し、カラオケが健康に役立つことを広報した。コロナ禍で甚大な痛手を被った昼カラ(カラオケ喫茶など)を応援する企画として、カラオケイベント開催ツールを無償で提供する「カラオケ文化の日まつり」を10月17日から11月末日までを開催期間に実施、募集枠(100店舗)の倍近い193店舗が参加した。

更には、業界内の交流と親睦向上を目的に、カラオケ産業に携わる業界人参加による情報交換会「カラオケ事業者交流会 2024」を1月16日に開催。協会機関紙「JKA NET」112・113・114・115号を発行した。

渉外委員会

著作権擁護の観点からJASRACとの間に締結した「カラオケ利用の適正化事業に関する協定」に則り、無許諾利用の解消を図る一方、「一体型契約申込書」の利用促進に努め、無許諾利用の発生防止に取り組んだ。14会場で「著作権講習会」を開催し管理指導者や取扱管理者の育成に努めた。

次に、消費者センターや法律相談所に寄せられる顧客からの疑問や質問に「クレーム110番」で対応し、協議機関という立場で問題解決を図ると共に、顧客の不信感払拭に向けて各種契約書式の業界標準化に努め整備を行った。また、「市場活性化委員会」で顧客保護の視点に立った業界の適正化施策を検討し、「地区懇談会」などの場で浸透を図った。

加えて、会員各社営業職のレベル向上を目的に、カラオケ営業の実務についての「スキルアップ講習2023」を東京・大阪・岡山・福岡会場で開催。カラオケ利用の適正化を徹底すると共に、交渉力の強化を学んだ。また、業界の現状を調査する市場アンケートを全国規模で実施し、その結果を「カラオケ白書 2023」としてまとめ発行した。

総会 協会設立30周年の新しい年度がスタート。 懇親会では、これからの更なる発展へ決意を固める。

2024年度定時代議員総会終了後、来賓・支部役員出席のもと懇親会が開催されました。

冒頭、佐久間秀樹会長が参集者へ謝辞を述べた後、「この協会も30年の節目を迎えた。30周年は記念式典開催などを控え、業界の今後に繋がる3事業を企画している。それが、Web上での会員事業者の発信、記念誌の発行、世界に向けたカラオケの魅力発信の3つである。アフターコロナの国内においてインバウンド需要は特筆に値する。しかしながらカラオケ市場への貢献度は、まだ高いとは言えない。そこでインバウンド向けにJAPANESE KARAOKEの魅力発信に『日本でも楽しむべきはカラオケである』と訴求していき、いよいよ挨拶。

続いて、来賓を代表して経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐 腰田 将也様より「カラオケは我々の心と体に癒しをもたらす、世界に誇るべき日本文化である。引き続き協会にはカラオケの普及と発展のためにご尽力いただきたい。カラオケ業界ひいては日本の音楽業界全体がより一層発展

するため、協会の更なる活躍を祈念したい」と挨拶いたしました。

次に文化庁 著作権者 著作物流通推進室 室長補佐 内村 太一様より「当協会は30年わたってカラオケ市場の活性化に向けた様々な事業に取り組み、そして努力がカラオケ文化の継承発展、それに伴う著作物等の利用促進、質の高いコンテンツの創作といった文化の発展に大きく寄与している。カラオケ文化の明るい未来の為に志を一つに共に歩んで参りたい」とのお言葉をいただきました。

来賓のご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会 常務理事 増田 裕一様から「設立30周年、誠にありがとうございます。改めてこれまでの当協会業務へのご理解とご協力の数々に深く御礼申し上げます。最近ではZ世代の方々から昭和レトロが流行り始め、昔から営業しているスナックも昭和レトロとして若者が店を訪れているようです。『スナカラ』の展開やSNSプロモーションなど、貴協会の先を見越した取り組みの成果が表れているものと思えます。より多くの若者を巻き込んで、カラオケ業界

が更に拡がりを見せることを祈念しております」と乾杯の挨拶と発言をいただき、宴へと移りました。

場内の各テーブルでは談笑あり、意見交換ありとさまざまなかたちで業界展望が語られ、活気溢れるエネルギーが、途中には一般社団法人日本カラオケボックス協会連合会 理事長 仲間 信男様の叙勲を称える一幕も設けられ、終始和気あいあいとしたムードの中、懇親の宴が時間一杯続きました。

中締めは島垣 恒利副会長が務め、二般論だが、企業寿命が30年と言われる中、協会が30周年の節目を迎えられることは所属企業として大変喜ばしいこと。偏にこれまで業界の盤石な礎を築いてこられた先人のおかげ、そして我々もいつかこの礎を引き継いでいかねばならない。消滅自治体が問題になる中、元気なカラオケで町興しは出来ないので、事業者各位がそれぞれの自治体に寄り添った事業活動を模索しつつ、業界の更なる発展に向けて力を合せていきたい」と決意を固め、会合の幕を閉じた。



▲祝辞をいただいた経済産業省 課長補佐 腰田 将也様



▲祝辞をいただいた文化庁 室長補佐 内村 太一様



▲乾杯の発声をいただいた JASRAC 常務理事 増田 裕一様



▲中締めを担当した 島垣副会長



▲懇親会の会場の様子

2024年度事業計画

概要 協会設立30周年の節目を迎え、既存市場の活性化と新規市場の創造に向け、心新たに業界の発展を目指す。感染症全般への予防対策を業界として講じつつ、カラオケの効用を前面に押し出した活動を業界挙げて実行する。活性化策としては、歌う気運を盛り上げる既存市場へ向けた施策や、新規需要へ繋がる喚起プロモーションを展開する。

地区懇談会など会員交流の場を通じて業界内の諸問題解消と市場の秩序維持に繋げる。会員企業社員の技能向上「カラオケエンジニア検定」の浸透を図るほか、営業職向けのスキルアップ講習会などを通して業界のレベルアップを目指す。音楽著作権を取扱う資格者による適正化の推進、そして効率化に繋がる契約書式の整備、キャッシュレス化を推進すると共に、ホームページを活かした情報共有など市場の正常化に努める。具体的事業については、各委員会、更には各専門委員会が中心となっていく。

●組織委員会

1. 能登半島地震被災地の復興を歌で支援するプロジェクトを実行する。
2. 設立30周年事業として、カラオケの魅力を訪日外国人に紹介し、カラオケ利用を促す動画を広く頒布し、「JAPAN = KARAOKÉ」の気運を醸成する。
3. 志を同じくする未加盟事業者に対して協会加盟を強く促す。
4. 協会ホームページの会員専用サイト利用活性化を図り、会員同士の情報共有を推進する。尚、「事例シート」内容の共有を目指す。
5. 地区懇談会を開催し、会員間の情報交換並びに協会の活動情報伝達に努める。また、問題点や違法行為に関する情報を収集し、必要に応じて渉外委員会への連絡を図り、市場の秩序維持に努める。
6. 会員企業社員の技術向上と専門知識習得を目的に、技能認定講座「カラオケエンジニア検定」受講をすすめ、一事業所に一人以上のエキスパート取得者並びに電気工事士や工事担任者の配置を目指す。
7. 求人難を解消する業界のイメージアップを模索する。従業員待遇や求人对策など社労士を招いた勉強会を企画する。
8. 「スナカラ」掲載店の15,000店登録を達成する。
9. 生涯学習としてのカラオケ利用促進を提唱するユーザー団体「カラオケ使用者連盟」の会員拡大を積極的に協力する。

●事業委員会

市場に対してカラオケを通じた活性化策を提供すると共に来店促進事業を実行する。また、歌う気運を盛り上げる施策、カラオケの効用を伝える広報活動を行う。設立30周年事業として、記念誌を作成する。

1.「文化専門委員会」

- 1) カラオケの活性化策に関する意見を一般から広く募集し、10年・20年前とのニーズの違いを明らかにする。
- 2) カラオケ文化の日(10月17日)事業として、昼カラ(カラオケ喫茶や昼営業のスナック)でカラオケイベント開催を後押しする応援企画「『カラオケ文化の日』まつり2024」を実施する。

2.「事業推進専門委員会」

- 1) 歌う気運を盛り上げるコンテンツを提供し、市場の活性化を図る。また、既存市場の盛り上げに繋がる有料化及び来店促進を目的とした「歌ってラッキーキャンペーン」を年末に実施する。
- 2) スナック紹介サイト「スナカラ」をプラットフォームに、若者や女性の利用促進につながるプロモーションを展開して新規顧客の誘導を試みる。
- 3) 業界関係者の情報交換の場として「カラオケ事業者交流会」を催す。
- 4) 各地のカラオケ関連イベントに必要なあれば後援する。

3.「広報専門委員会」

- 1) 協会活動を紹介する機関紙「JKA NET」を年4回発行する。
- 2) スナック女子の醸成に繋がる情報を発信すると共に、カラオケの健康面での効用を広く広報する。
- 3) 設立30周年事業として、業界と協会の足跡を記す記念誌を発行する。

●渉外委員会

各種関係機関との折衝業務にあたる一方、業界の適正化に向けた施策を講じる。また、市場状況の調査を行うと共に、会員企業強化に繋がる研修活動や標準書式の整備を行う。設立30周年事業として、会員名簿のWebサイトを開設する。

1.「法務専門委員会」

- 1) JASRACとの間に交わした「カラオケ利用の適正化事業に関する協定」(第14期協定)に沿った「一休型契約申込書」利用及び未受理店連絡シート回収の徹底。また、「音楽著作物利用許諾契約申込書 取扱管理者」による著作権適正化の推進を図る。
- 2) 業界内の諸問題解消と適法化を目標に、規範と委員会方針を協会員に徹底し顧客保護の観点に立った市場の正常化を図る。また、委員会決定事項の不履行に対する報告制度を検討し徹底度合いを強化する。加えて本部と支部の連携強化を深めて違法行為の監視に努め、顧客に不利益が及ぶことを未然に防ぐ。
- 3) 協会ホームページの会員専用サイトを使った情報共有策を検証し強化する。

2.「市場調査研究専門委員会」

- 1) 業界状況を把握する市場調査を全国的に実施し、報告書「カラオケ白書2024」を作成する。
- 2) 契約書式の効率化を調査し、統一書式の再編時に備える。
- 3) 設立30周年事業として、会員名簿のWebサイトを開設し、カラオケ導入時の情報提供や違法カラオケ機器に対する注意を呼び掛け、ネット上での秩序維持と市場正常化に役立てる。

3.「経営専門委員会」

- 1) 顧客クレームを把握し本部相談窓口と支部が連携して解決策を探る。
- 2) 未収金の効率的な回収を研究し、業界内のキャッシュレス化を推進する。
- 3) 会員企業の営業職に対してスキル向上を図る講習会を開催する。
- 4) 設置作業の質を高める運動などプラスアルファのサービス提供を推進する。

設立30周年記念 30周年記念ロゴマーク

ロゴ マーク	 	こころざしをひとつに30年 カラオケ業界の明るい未来をこれからも
-----------	---	---

設立30周年 記念事業

組織、事業、渉外の3委員会、それぞれ次の協会設立30周年記念事業を行います。

組織委員会 カラオケ文化発信プロジェクト

目的	訪日外国人（インバウンド）に向けて、日本が生んだカラオケの魅力を発信する動画コンテンツを協会HPで提供し、訪日外国人にカラオケこそが体験すべき日本の文化であることをアピールする。動画では体験できる3市場での楽しみ方を紹介するが、導入部であるホテル・旅館にあるカラオケを強調するものとし、コロナ禍でペースダウン気味のホテル・旅館市場へカラオケ文化発信拠点として最新カラオケ導入を促すツールとしても役立てる。具体的には、会員から取引先施設へ動画配布を行い、業界としての取り組みを紹介し、カラオケルームや宴会場を間仕切ったボーカールスペースの提案など、施設内レジャーの複合化を促す材料とする。
動画 内容	①ホテル・旅館のカラオケルーム、②カラオケボックス、③スナックの3市場におけるカラオケの楽しみ方を動画提供する。カラオケ機器の具体的な使用方法についても言及する。 コンテンツは会員管理店での使用も可能とし、各市場でもインバウンド需要盛り上げのツールとして利用いただく。特にカラオケ利用を促すホテル・旅館へ商材提案時のツールとして役立てる。
言語	英語のナレーションに①中国語簡体字、②中国語繁体字、③韓国語、④日本語の字幕が選択可能とする。

事業委員会 30周年記念誌

目的	設立10周年、20周年時と同様に節目を飾る記念誌を発行し、30年間の歩みを振り返る。また、設立を記念する対談や座談会などを行い、その模様を収録するほか、年表やカラオケ白書経年データ掲載して業界の記録書籍としての役割をもたせ、会員や関係各所へ配布する。
コンテンツ	■座談会～カラオケ業界の未来～ ■業界対談 ■User Needs『カラオケ活性化策』～人はカラオケに何を求めるか～ ・利用者ニーズ10年比較／2004年、2014年、2024年 ・カテゴリー別比較 ・＜2024年度版＞利用者ニーズのまとめ ■カラオケ歴史年表 ■「カラオケ白書」データに見る業界の30年 ■JKA概要/30年の歩み

渉外委員会 JKA会員名簿のWebサイト開設

目的	現在「カラオケ事業者一覧」として毎年発行している会員名簿のWeb化。会員は正規事業者であることをWebを通じて周知する。また、開設後は名簿と各会員企業のホームページをリンクする上での規約を設け、正規事業者が目指す業界サービスについての告知手段とする。
概要	このWebサイトでは店舗が抱く疑問や機器に関する内容も紹介し、多角的な閲覧者の流入を開拓する。また、JASRAC使用料をはじめ、会員事業者の取り組みや利便性をアピールすると共に、業界として市場に訴える事柄の窓口的な役割をもたせる。
コンテンツ	会員紹介と共にサイトコンテンツとして、 ・カラオケ導入時のトラブル例とその解消法 ・カラオケ導入時にかかる平均費用 ・カラオケを設置した際のランニングコスト ・スナック用語集 ・カラオケ設置までの流れ ・カラオケ設置に向いている店舗間取り ・ベテランママからのアドバイス など開業店に役立つ内容を提供し、粗悪事業者による「うまい話に落とし穴」が潜んでいる注意喚起サイトとしての役割も持たせる。

掲載店管理コンテンツは掲載申込書内容の持ち帰り登録より スマホ登録(商談中にその場で登録する事)をおすすめします

■掲載店管理コンテンツとは

「掲載店管理コンテンツ」は店舗が自由に掲載情報を編集できる機能です。掲載情報の変更は各事業者がおこなっていますが、その負担がなくなるとともに、掲載店が掲載内容を充実させ、タイムリーに情報を更新できるので、ユーザーから検索されやすくなり、集客効果が期待できます。

■登録の流れ(商談中にその場で新規掲載を「掲載店管理コンテンツ」に登録する場合)

基本情報(店舗名、店舗電話番号、店舗住所、掲載エリア)を入力するだけなので、通常の登録より簡単にご登録いただけます

1 掲載店管理コンテンツを紹介し、登録を希望するかヒアリング

新規の場合は掲載申込書に記入いただく際にご案内願います。

※「ツールダウンロード」ページにある「掲載店管理コンテンツ 店舗案内用チラシ」をご活用ください。



2 スマートフォンで事業者用管理ページにログインし、「新規店舗登録」をタップ

登録時にメールで配信した「ユーザー名」と登録の「パスワード」を入力し、ログインください。



スナカラ事業者用管理ページ
<https://www.snakaranavi.net/user/>

3 ヒアリングをしながら基本情報(店舗名、店舗電話番号、店舗住所、掲載エリア)を入力し、「掲載店管理コンテンツ」の「申込みへ」をタップ



4 ページ下部の「その場で申込する場合」の「登録用QRコードを表示」をタップ。表示されるQRコードを店舗の登録者のスマートフォンで読み込んでもらう



5 店舗の登録者のスマートフォンのメールアプリが起動するので、そのまま立ち上がったメールを何も入力せずに送信。その後、「掲載店管理コンテンツ」登録のご案内という件名のメールが届くので、本文のURLをタップして登録画面に進む

6 店舗は画面の案内に従って登録する



「掲載店管理コンテンツ」は基本的に掲載店が入力・編集するものです。店舗スタッフが入力できるお店にすすめましょう
「掲載店管理コンテンツ」は掲載店が管理ページにログインし、入力や編集などをおこないます。入力・編集は難しいものではありませんが、スタッフが入力できるお店(スマホで会員登録ができる等)にすすめてください。

まずはアプリ版をダウンロード!

まずはアプリでスナカラを紹介して、「スナカラ事業者用管理ページ」からその場で新規掲載及び掲載店管理コンテンツに登録しましょう。



ダウンロードは下のQRコードから!

iOS端末はこちら



Android端末はこちら



■スナカラ事業者用管理ページのホーム画面追加方法(参考)

「スナカラ事業者用管理ページ」はスマートフォンでも閲覧できます。「スナカラ事業者用管理ページ」をホーム画面に追加することで、すぐにアクセスできるようになります。

ホーム画面への追加は右のQRコードから「スナカラ事業者用管理ページ」にアクセスし、下図の手順で追加ください。

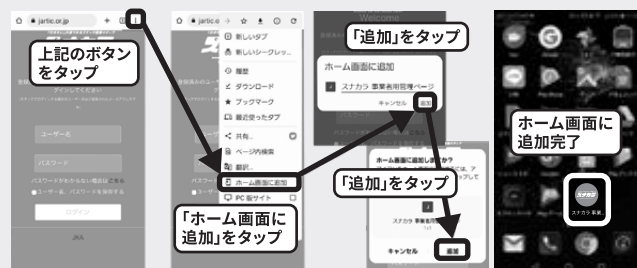


スナカラ事業者用管理ページ
<https://www.snakaranavi.net/user/>

▼ iOS(Safari)の場合



▼ Android(Google Chrome)の場合



■移転・閉店時の対応

「掲載店管理コンテンツ」登録店舗であっても基本情報(店舗名、店舗電話番号、店舗住所、掲載エリア)の変更はスナカラ事業者用管理ページでしかできません。移転や店名の変更があった際は各事業者にて対応願います。また、閉店した際の非公開設定または掲載の削除についても同様です。

「JASRAC申込書取扱管理指導者」
新たに49名が誕生

(一社)日本音楽著作権協会(JASRAC)との第14期協定の締結を受け、2月6日の那覇会場から3月28日の名古屋会場まで全14会場で「著作権講習会2024」を開催。「音楽著作物利用許諾契約申込書 取扱管理指導者」制度の最上位となる「JASRAC申込書取扱管理指導者」認定が行われました。以下、新たに認定された49名の指導者と将来の指導者候補として「優秀管理者」になった66名を紹介します。

■JASRAC 申込書取扱管理指導者/49名(敬称略)

北海道支部 北田 洋之(株)北海道第一興商 苫小牧支店 最上 景(株)エクシング	本多 壮一郎(株)カシ・コーポレーション 北陸営業所 長尾 篤司(株)エクシング 静岡支店 松岡 幸(株)松岡電気(株)
東北支部 岡村 順也(株)北東北第一興商 八戸支店 岡村 東(株)エクシングいわき支店 佐藤 孝洋(株)アルノ	山下 英明(株)カシ・コーポレーション 北陸営業所 吉田 正輝(株)北陸第一興商 富山支店 古田 隆司(株)東海第一興商
藤田 修(株)ティールズ 山形営業所 北関東・甲信越支部 中谷 慎吾(株)エクシング 長野支店 長澤 安晃(株)群馬第一興商 伊藤 明和(株)株式会社タイムル	関西支部 明間 裕紀(株)ミニシユーク関西 関空営業所 池田 真也(株)ミニシユーク関西 関空営業所 井村 貴宏(株)ミニシユーク関西 関空営業所 酒井 領也(株)メグミ
宮 俊之(株)第一興商 山梨支店 関東支部 杉野 保夫(株)エスティーシーコーポレーション 八木 亮(株)エクシング	佐藤 智也(株)ミニシユーク関西 関空成(株)エクシング 京都支店 松田 信也(東洋音響(株)) 古田 正光(株)ミニシユーク関西 田辺営業所
柿沼 良次(株)埼玉第一興商 川越支店 末永 秀基(株)第一興商 東京南支店 原 淳一(株)第一興商 横浜支店 相浦 豊公(株)第一興商	中国支部 小笠原 務浩(有)アイクラフト 清永 浩三(株)エクシング 田中 晃(株)エクシング 広島支店 西山 仁(有)アイクラフト
中部支部 石原 清行(株)カシ・コーポレーション 三重営業所 伊藤 真也(株)カシ・コーポレーション 宮営業所	四国支部 澤井 直喜(株)B.M.C 森本 義典(株)第一興商 松山支店
金井 弘洋(株)東海第一興商 佐藤 弘之(株)東海第一興商 森田 孝行(株)カシ・コーポレーション 豊田営業所	九州支部 味坂 周太(株)トーニ 宮崎営業所 梅野 正明(株)トーニ 平城 隆(有)アクティクス 福岡営業所
高田 雄一(株)エクシング 錦糸支店 茶谷 智和(株)エクシング 金沢支店 土家 健二(株)カシ・コーポレーション 岐阜営業所	宮元 純一(株)第一興商 大分支店 吉田 隆隆(株)サントスワールド

■音楽著作物利用許諾契約申込書取扱管理指導者 優秀管理者/66名(敬称略)

北海道支部 工藤 亮児(株)北海道第一興商 札幌支店	島 雅朗(株)ミニシユーク関西
東北支部 大谷 一也(株)北海道第一興商 山形支店	杉本 裕昭(株)カシ・コーポレーション 神戸営業所
北関東・甲信越支部 中沢 清貴(株)新潟第一興商	高杉 義利(株)兵庫第一興商 播磨支店
深澤 智道(株)群馬第一興商	竹村 義利(株)京都サービスゲームス
山井 耕二(株)エクシング 高崎支店	谷口 健太(株)近畿第一興商 和歌山支店
関東支部 浅生 俊彰(株)アルコ	田村 優(株)兵庫第一興商
大新井 茂弘(株)第一興商 東京南支店	中西 和弘(株)ミニシユーク関西
大河原 健(株)エクシングサービス	中東 和幸(株)音通エンタテインメント 大阪営業所
奥山 佑介(株)第一興商 東京支店	沼和 男(株)兵庫第一興商
作元 達朗(株)第一興商 松戸支店	松本 徳祐(株)カシ・コーポレーション 大阪貨物営業所
塩川 貴之(株)音研商事	水原 邦之(株)音通エンタテインメント 大阪営業所
塩川 貴之(株)音研商事	宮本 健太(株)カシ・コーポレーション 奈良営業所
塩川 貴之(株)音研商事	八木 智也(株)京都第一興商
鈴木 田中(株)エクシング 歌舞伎町支店	矢野 和夫(株)音通エンタテインメント 大阪営業所
鈴木 田中(株)エクシング 京浜支店	吉田 和夫(株)音通エンタテインメント 大阪営業所
土谷 政司(株)TOEI埼玉	浦上 翔太(株)第一興商 山陰支店
友成 義則(株)カシ・コーポレーション	藤村 和章(株)トーゴマシナリー
能勢 文広(有)能勢コーポレーション	四国支部 小坂 紀貴(株)エクシング 松山支店
廣瀬 秀一(株)音通エンタテインメント 横浜営業所	九州支部 馬場 直哉(株)サントスワールド
廣瀬 秀一(株)音通エンタテインメント 第一興商	伊藤 友和(株)第一興商 熊本支店
四辻 恭平(株)エクシング 川口支店	入田 芳裕(株)サウンドおおの
中部支部 今井 信明(株)テラスター	小尾 一誠(株)サウンドおおの
小林 通男(株)東静機	尾原 進(株)九州ビーエムシー
小林 嘉隆(株)第一興商 岡崎支店	(株)トーニ
鈴木 亨彦(株)静岡第一興商 浜松支店	酒井 隆彦(株)JOYSOUND 沖縄 営業部
竹内 正則(株)カシ・コーポレーション 名古屋営業所	(株)サウンドおおの
田中 宣彦(株)東海第一興商	山田 正広(株)第一興商 長崎支店
橋本 雅志(株)エクシング 豊橋支店	久野 貴正(株)九州第一興商
橋本 正人(株)エクシング 富山支店	藤村 貴久(株)サウンドおおの
米田 隆司(株)東海第一興商	安田 善久(株)第一興商 長崎支店
関西支部 榎本 豊(株)音通エンタテインメント 大阪営業所	安田 卓也(株)サウンドオブ
刀谷 伸雄(株)エクシング 大阪ミナミ支店	山田 理(株)サウンドおおの
菊地 孝輔(株)第一興商 関西支店	

2024年度の「カラオケ文化の日(10月17日)」公募は、
「『カラオケ活性化策』～人はカラオケに何を求めるか～」を
テーマに実施。

10周年、20周年時に実施した「カラオケ活性化策」についての意見募集を同内容で行い、利用者ニーズの変化を30周年記念誌にまとめます。

2024年度『カラオケ文化の日』公募

「カラオケ活性化策」
人はカラオケに何を求めるか
ご意見大募集

あなたが提唱する「カラオケ活性化策」。カラオケにこんな機能が付加されればもっと歌うのに、今の時代こんなサービスがカラオケに必要な、こうすればカラオケはもっと利用される、カラオケでこんなことが出来たら便利なのに、などなど、カラオケ活性化に繋がるなら何でも結構です(500字以内)

例えば...

- ・業界に求めること(新たな利用方法、取り組み、サービスなど)
- ・カラオケ機器に求めること(機能、楽曲、コンテンツなど)
- ・店舗に求めること(接客、飲食の提供、イベントなど)
- ・その他、私がカラオケに求めているもの

応募規定 募集テーマに沿ったご意見、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、年間で平均何回カラオケを利用するかを明記し、下記の応募方法にて作品を投稿する(複数応募可)。

応募資格 不問

締切 2024年8月31日(当日消印有効)

副賞 商品券(金賞1名:10万円分、銀賞2名:5万円分、銅賞3名:3万円分)

発表 2024年10月17日(カラオケ文化の日)、公式ウェブサイト(https://www.karaoke.or.jp/oubo2024/)にて受賞者及び作品を発表。

主催 一般社団法人 全国カラオケ事業者協会

協力 株式会社 エクシング、株式会社 第一興商(50音順)

応募先 <Web応募>上記、公式ウェブサイトにアクセスし「応募フォーム」より投稿してください。

<郵送>〒141-0021東京都品川区上大崎2-24-11日黒西ロマンション2号館503号
一般社団法人 全国カラオケ事業者協会「2024年度カラオケ文化の日 公募」係

<電子メール>oubo@karaoke.or.jp

1. 会員数についての報告
2. 後期地区懇談会の開催報告
3. 市場活性化事業の検討
4. 「カラオケ文化の日」事業
5. 「カラオケ文化の日」事業
6. 歌ってラッキーキャンペーン
7. Webプロモーションの実施
8. 能登半島地震被災地への復興支援事業
9. 協会設立30周年事業と次年度業界推進策の検討
10. 2024年度総会及び支部総会開催について
11. 2023年度事業報告案
12. 2024年度事業計画と収支予算案
13. 3. 総会及び支部総会の開催日程本
14. 年度事業の振り返り総括と各委員会
15. 次年度事業詳細検討

1. 会員数についての報告
2. 2023年度事業報告及び収支決算について
3. 2024年度事業計画案及び収支予算案
4. 2024年度の主な事業
5. 市場活性化事業
6. 「カラオケ文化の日」事業
7. カラオケ利用の適正化事業
8. スキルアップ講習2024
9. 業界推進策2024
10. 設立30周年記念事業の実施について
11. 「カラオケ文化の日」事業
12. カラオケ文化の日
13. カラオケ文化の日
14. カラオケ文化の日
15. カラオケ文化の日
16. カラオケ文化の日
17. カラオケ文化の日
18. カラオケ文化の日
19. カラオケ文化の日
20. カラオケ文化の日
21. カラオケ文化の日
22. カラオケ文化の日
23. カラオケ文化の日
24. カラオケ文化の日
25. カラオケ文化の日
26. カラオケ文化の日
27. カラオケ文化の日
28. カラオケ文化の日
29. カラオケ文化の日
30. カラオケ文化の日

- その他の会議・会合
- 北海道支部/北海道後期地区懇談会
3月13日(札幌東急REIホテル)
 - 中部支部/静岡後期地区懇談会
3月13日(レイアウト御幸町ビル)
 - 九州支部/沖縄後期地区懇談会
2月8日(福岡朝日ビル)
 - 関西支部/近畿後期地区懇談会
3月18日(京都タワーホテル)
 - 関西支部/阪神後期地区懇談会
3月19日(ニッポーサカホテル)
 - 第243回紛争処理委員会
3月26日(JASRAC)
 - 中部支部/北陸後期地区懇談会
3月27日(金沢勤労者プラザ)
 - 中部支部/東海後期地区懇談会
3月28日(名駅モリタ名古屋東口店)
 - 第51回市場活性化委員会
4月24日(ホテルマイステイズ五反田)
 - 第244回紛争処理委員会
5月24日(JASRAC)



映像・音響・店舗設備のトータルプロデュース
エム・エム・ケー株式会社
〒594-0042 大阪府和泉市箕形町1-6-23
TEL 0725-40-2227 FAX 0725-40-2228